

10 / 21 校長室より 117

教育実習生による道德の授業の題材は、
『国境なき医師団・貫戸^{かんと}ともこ^{ともこ}』。



1999年、NHK「課外授業ようこそ先輩」に出演。
貫戸^{かんと}医師は、ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争の際、
「国境なき医師団」の一員として
日本人として初めて救援活動に携わりました。

お母さんに連れてこられた瀕死の男の子を前に、
医師の目から見て快方の見込みのない患者に
貴重な医療物資（酸素）を処方し続けるか
どうかを迷います…。

本時は、貫戸さんの直面したジレンマ場面を読み
熱い議論を交わしていく授業です。



「課外授業ようこそ先輩」に出演した際、
貫戸さんは、

「自分の意見を正当化してください!!!」
と力強く子どもたちに言葉を投げかけました。

酸素をあげるべきだったのか、切ってよかったのか…
この問いは、医師であり続ける貫戸さん自身への
普遍的な問いなのだと感じます。